



目 次

図書館、それは生涯教育の場

シリーズ：所蔵資料紹介

(書画という“対話”)

OPACの検索から始めてみましょう

ミニシリーズ・情報検索コーナーより その⑫

(図書館には各種のCD-ROMがあります)

2002年 外国雑誌情報

鳥取ライオンズクラブ寄贈図書

ミニ・トピックス

平成14年度中央図書館カレンダー

図書館、それは生涯教育の場

猪 川 嗣 朗

大学で学んだことは卒業後速やかに時代がかった古い知識となっていく。時間が経過するにつれて、世が変わり考え方も変わって行くからである。その為にはその時代の変化に対応できる工夫や能力が必要でこれを修得しておく必要がある。つまり新たに創造された文化への対応が必要となって来る。これからの地球人はこれ迄経験したことのない様な社会現象や自然科学に関する未知な分野の諸問題に遭遇するであろう。この変化の速度は著しく、それがもたらさずであろう諸問題は人類にとって善か悪かを考えるには余りにも速すぎる。地球の環境を破壊したのち、やっとその行為の愚かさに気が付くのである。見方を変えればそれだけ人類が容易に地球環境に変化を与えることができるようになった。とてつもなく大きなダムや、海峡を跨ぐ巨大な橋を造ることも、また大きな湾を埋立てることも、小山の一つや二つを削り取ることもそう困難なことでは無くなってしまったのである。今になって思えば人類は他に及ぼす影響など考えることもなく自己の利便さや欲求を追求して来た。便利にはなったが、反面ではこの事は地球上の生物にとてつもない被害を与えて来たのである。絶滅させられた種も多数ある。今になって

ようやくこの事実に気付き、遺伝子バンクを作るようになって来ている。

自然界の生き物や物質は全てと言って良い程リサイクルによって共存共栄が図られて来ているのである。物質循環、食物連鎖である。これ以上人類によって自然の破壊を進めてはならない。美しい青色の宇宙船である地球は数ある太陽の惑星の内最も価値があるように思える。地球は我々人間だけのものではない。すべての生物が以前のように共存しながら棲む場所ではなければならない。すべての生物に優しい人類でなければ、人類は地球上で近い将来これ迄の様に生活できなくなるであろう。

宇宙船地球号は太陽からのエネルギーによって運用されていると言っても過言ではなく、乗組員に定員があることである。従ってこの様な諸条件を打破するため人類は新たな挑戦を試みる。つまりビッグサイエンスの抬頭である。ビル・ジョイ氏も言っているように現代文明が抱える課題に人類は今一度目を向ける必要があるように思われる。グローバリズム、市場経済、差別と貧困などである。これまで現代文明は順調に成長して来たかの感がしていたが、米国での昨年の同時多発テロによって今やその

考え方に大きな変更を余儀なくされた。すでに存在する技術、これだけでは安全な世界は作れない。いま勃興しつつある技術、つまり遺伝子工学、ナノ技術、ロボット工学などに内在する危険性についても真剣に考えなければならない。これらビッグサイエンスと呼ばれるものには前述したように恐ろしい程の光と影がある。科学者達は先を競うかのように光に群がって開発する。開発されたノウハウはやがて悪人と言える人達に知られ、悪意の行為を始める。そこには光の面からは想像もつかない暗黒な世界、影が待っている。情報の発達によりこの暗黒な世界ではかつてのように組織を必要とするでもなく特に生物テロの材料となり得るものをひっそりと、いとも簡単に作ることができるのである。遺伝子技術の発達はクローン人間を生み、ナノ技術は次々と自然界にないものを作りだし、意思や感情を持つロボットが人間の意思に反して自分達の王国を作り上げるかも知れない。これらがいったん解き放たれるとこれまでの人間では制御不可能な社会が生まれ、悪意の個人が簡単にパンドラの箱を開けることができるのである。最新の技術の成果は人間が制御できない社会を生み出す恐れを明らかにしつつある。しかし一旦はじまったこの終りなきレースは止めることができない。これは人類にとって実に大きなジレンマなのである。

私達は近い未来に起こり得る最悪のシナリオを想像しそれを避けるための努力を怠ってはならないのである。必ずしも悲観的なものとも考える必要はない。研究者は個人の責任の自覚のもとに倫理感覚を研ぎ澄ませなければならない。自分が今までしてきたことだけでなくこれから行う研究についても同様である。私達は感情的な生き物であり、人間は間違いを犯すことを忘れてはならない。

図書館はもっと諸外国からの留学生に対して、国際交流の意味においても組織化し、図書館への貢献、特に自国語で発刊されている書籍の紹介に努めることを勧めるべきではなからうか。私がかつて留学したロンドン大学のガイズ病院医学部の図書館では、留学早々から図書館に近着した日本の医学書の要約を英訳させられたものである。

留学生はその国の近未来を担う人材であり、抗日的また不愉快な感情で帰国させてはならない。その国では日本を最も理解していると考えられる人材になるはずである。いたずらに留学生の数を増やすことではなく、受け入れしただけには十分な待遇で迎えるべきである。歴史的にも長い経験を持つ欧米では殊の外この問題には敏感であり、彼等が留学生受け入れの意義をある意味では実によく理解している。このことが国際社会においても、援助金や支援金の額ではなく、リーダーとしての尊厳を保持している拠所である。日本は余りにも国際的な常識がない。この小さな基本事項からの改善は重要であろう。

図書館を利用することは、限られた生存期間にあって他人の経験したことや社会の仕組みなどを効率よく垣間見ることであり、これから経験するであろう未知の友人達の生きざまを共感をもって理解することができ、限られた時空間に生きる生物、特に人間としてより豊かな思考体系を与え、平和な共存共栄の意義の大切さを理解させるものとなるであろう。このように図書館はこれからの世紀に最も必要となる「人間とは何か」を知る最も効率のよい身近な存在であり、文化の宝庫である。単に学生としての在籍中の知的財産の拡充やレポートや論文等の作成に便利な場所ではない。大学で学ぶことは生涯教育の一過程にすぎない。

諸外国ではもっとこのことを深く理解し、授業やセミナーの場所として大いに活用している。このような不安要素に満ちた現代社会において人類の世界平和を具体的に推進するため、今こそ図書館が自らの意志で活性化することが必要な時であろう。

地球上の人々は実に様々な生活をし、異なった生活をしている。21世紀は海外の人達の生き様の違いを知り、その意義を理解し容認することが必ず求められるようになる。つまりグローバル化である。こうならないと地球上に平和と呼ばれるものが訪れないであろう。図書館は単に知識や未知の世界の扉を開くためではない、あくまでもこれ迄の知識の経時的変化の集大成を知る所でもあるが、個人の知的欲望を満足させるにとどまらず、社会的集団として来るべき21世紀の諸現象や諸問題を如何に効率よ

く、社会的にも大きな矛盾を与えず前向きに解決できる方法を得る所である。これは単に国内だけの問題ではなく国外、国際的問題の解決への問題である。この為には日頃から知識を時代と共に整理をし、来るべき不安に満ちた世界を切り抜ける人間の叡智で、人類のために、いな宇宙船地球号の最適環境の保持、平和の維持のために、その最適な解決策を見

出さねばならない。

冒頭から述べてきたように、今や世界は何か価値観が狂い始めている時代と言えなくもない。それだけに大学図書館と言えども、生涯教育の場としてまた情報の発信源として、大学人は勿論のこともっと社会に開かれ活用されるべき所なのである。

(医学部教授 臨床検査医学)

シリーズ：所蔵資料紹介

書画という“対話”

住川 英明

見てのとおり、雀が五羽描かれている。そのうちの二羽はまだ空中にあるが、あとの三羽は地上に降りて羽を整え、ついでむべき餌を求めんとしている。鳥たちは右上から右下に向かって半円の軌道上に配置され、その姿を目で追うことによって、あたかも一羽の雀が飛来して着地するまでの、一連の分解写真を見るような効果をあげている。

この雀の画が、春月という女性の手になることは、左下に小さく書かれた「春月女」という落款によって分かる。右下に向かう画面の動きを、この落款が左へ引っぱって、この一幅の下半、さらには全体を安定させている。

丁寧に描かれた五羽の雀が一幅の主役であることは間違いない。しかし、よく見ると、画の上半に書かれた画賛の方が、むしろ大きい顔をしている。画賛は本来「添えもの」であるのに、「添えもの」の落款が大きく書かれ、押された朱色の印影もやけに堂々としている。「春廻舎」と堂号を署名し、「碩水道人」と捺印したこの賛の書者は何者か。また、春月なる女性とはいかなる関係にあるのか。

まあいい、とにかく賛を読んでみよう。「元日やよい日の当るまはり椽(縁)」とある。「椽」は明らかにキヘンの字だが、椽(テン)は屋根板を支える垂木のことだから、どうもぴたりこない。おそらくこの場合は縁(エン)ではないか。「回

り縁」つまり部屋の周りの縁側のことではないかと思う。

句の作者の目の前には縁側が広がっている。あるいは自身がその縁側に座っている。穏やかな冬の陽の当たる縁側の先には庭があり、その庭には今しがた舞い降りたばかりの数羽の寒雀が餌をさがす、そういった一幅の趣向だろう。

この軸には「鳥取県師範学校郷土室之印」が押され、巻子の題簽にあたる部分には「春月女雀画碩水賛」と墨書してある。碩



(102.3×26.0)

水とは、村上碩水のこと。嘉永年間に活躍した鳥取出身の俳人である。春月は彼の奥さんというから、この幅は妻の画に夫が賛をした、夫妻の合作ということになる。

碩水は、事跡のよく分からない人である。『鳥取俳人史』を著した郷土史家の荻原直正は、嘉永四年版『諸国俳人通名録』の「碩水 諸国行脚 米子屋治助」の記載や数冊の俳書の序文を手がかりとして、その生涯のアウトラインを描いてみせた。この他に慶応四年版の『平安人物志』には「村上 小堀袋町 村上碩水」の一行があって、京都に在住していたことが確かめられる。京に居を定めつつも、諸国を行脚して他国の俳人と交わり、ときに故郷である鳥取に帰る、そんな生活ぶりであったのだろう。

奥さんの春月は、幕末の女流歌人であった大田垣蓮月(1791 - 1875)の秘書役をつとめ、その代筆をつとめたとも言われている。荻原は、碩水・春月と蓮月との関係について、蓮月尼の父が鳥取藩士であったことから生まれた縁ではないかと推測している。いずれにしても、春月は文墨に親しんだ人であったろうし、夫が留守がちのなか、暇のとれた時など書画を揮毫することも度々あったのではないかと想像する。

春月の寒雀は目前の小光景をとらえたものだろう。しかし、その筆致は洒脱とは言えない。その配置も細心の注意を払って按配されていて、見方によっては、ややわざとらしいと言えないことも

ない。要するに、春月はかなり緊張している。熟慮の上で一筆一筆を落としている。碩水の書がのびやかに書かれているので、なおのことその端正さが際立つのだろう。

私自身の勝手な思い込みで言えば、ここには描く妻を見つめる夫の慈眼と夫の眼前で筆を揮う妻の恥じらいとがほの見えるようだ。画と賛のいずれが先に書かれたのかは分からないが、両者が互いの仕事を念頭において筆を進めているのは確かだ。まるで連句において発句に脇句を付けるときのような気持ちの使い方が、ここにはある。画と賛との対応の中に、夫妻の“対話”が刷り込まれているように思うのである。

書画は、つねに作り手によるモノローグの表現であるとは限らない。作り手が受け手を強く意識して制作する場合もあり、このたびのように、複数の作り手が互いを強く意識して共同する場合もあるのである。

コラボレーションは、むしろ文墨の楽しみの中核をなすものと言ってよいかもしれない。

(教育地域科学部 助教授)

この作品をカラーでご覧になりたい場合は、
当館ホームページ

<http://www.lib.tottori-u.ac.jp/>

で試行提供中の鳥取電子展示室「鳥取大学附属図書館 鳥取郷土研究・教育資料総合データベース 1 書画・短冊等 俳人の著作と筆跡 No.45」をクリックしてください。

OPACの検索から始めてみましょう

—— 新入生のみなさんへ ——

ご入学おめでとうございます。ここでは図書館のサービスで最もよく利用される^{オーバーブック}OPACを使った図書の探し方を説明します。たくさんの蔵書の中から必要な資料を見つける為に、必ず覚えておいてほしいことです。是非早いうちに図書館で開催する講習会に参加する(お勧め)か、図書館利用案内を持っ

て図書館の探検に来て、ご自分で一度試してみてください。

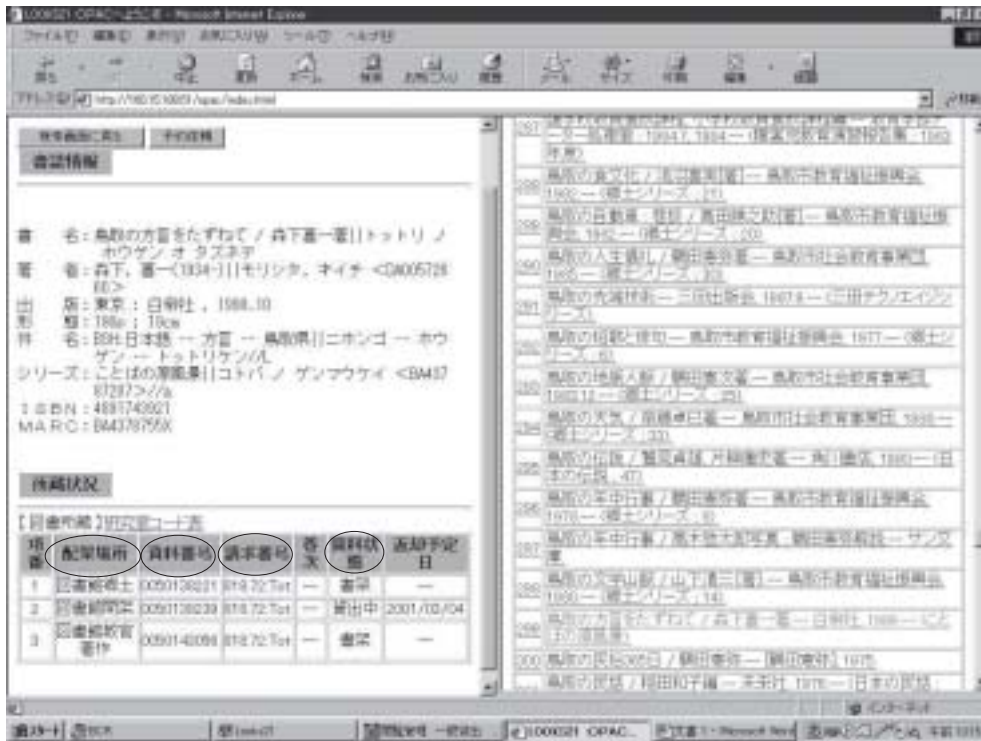
OPACは鳥取大学内に所蔵する図書や雑誌を、コンピュータを利用して検索できる目録です。図書館の玄関に入ってすぐ左手にある専用のパソコンで検索することもできますし、自宅や研究室からイ

インターネットで検索することもできます。

OPACでは、探している資料の書名、著者名、出版者、キーワードなどからその資料を学内に所蔵しているかどうか、学内のどこ(図書館のどこの棚? 研究室?)に所

蔵しているのか、

特定の内容について書かれた、学内で所蔵している資料にはどんなものがあるのか、を調べることができます。例えば検索結果がこんなふうだったとしたら...



所蔵状況を見てください。

項番 1 から 3 が表示されているので、この図書は学内に 3 冊あることがわかります。それぞれの配架場所は“ 図書館郷土 ” “ 図書館開架 ” “ 図書館教官著作 ” となっています。これは 3 冊とも図書館の中の、郷土資料室・開架書架・教官著作コーナーにそれぞれ 1 冊ずつあるということです。開架書架とは図書館の 2 階 (和書)・3 階 (洋書) の棚のこと、郷土資料室や教官著作コーナーの場所は利用案内や図書館内の資料配置図を見てください。配架場所の欄がアルファベットや数字 4 文字の時は研究室で所蔵しています。研究室コード表をクリックすればどの研究室なのかを調べることができます。

次に請求番号を見てください。これは図書の背表紙に貼ってあるラベルの番号です。



- ・・・分類番号
- ・・・著者記号
- ・・・全集の巻次

ラベルはこのように 3 段になっています。1 段目は分類番号、2 段目は著者記号、3 段目は全集の巻次などを表します。OPAC の表示ではコロんで段が変わることを示します。1 段目の分類番号は、図書の内容を日本十進分類法に基づいて分類した番号です。図書館に配架されている図書はそれぞれの配架場所 (図書館開架、図書館参考《1 階》、など) ごとに、この分類番号順に並べられています。このように並べているのは、資料を OPAC で検索して探すことも、探している資料の分類番号で直接書架を見て探すこともできるようにする為です。

次は資料状態を見てください。“書架”と表示されているものは貸出中ではないという意味です。もしかしたらその本を誰かが館内で読んでいるかもしれません。もし書架に見当たらなければ、少し時間をおいて探してみてください。貸出中の資料は、返却された時にすぐに借りられるように予約をすることができます。画面うえの予約依頼ボタンをク

リックし、必要事項を入力してください。

始めはOPACで検索してから現物を手にとるまで時間がかかるかもしれません。利用案内や館内の

表示を見たり、カウンター職員に聞いたり、図書館の講習会に参加したりして、たくさん探しものをするのが図書館を上手に利用できるようになる一番の方法です。

ミニシリーズ・情報検索コーナーより その12

図書館には各種のCD-ROMがあります。

図書館では、さまざまな情報を検索するためのCD-ROMを所蔵しています。今回は、図書館で利用できるスタンドアロン型CD-ROMのうちから主なものを紹介します。

利用する際には、備え付け申込書に記入の上、カウンターで申し込みをして希望のCD-ROMを受け取り、情報検索コーナーまたはカウンター専用端末で利用してください。利用方法がわからない場合は、備付のマニュアルを参照するか、係員にお尋ねください。

辞典・百科事典など

12カ国語大辞典

日本語・英語・ドイツ語・フランス語・イタリア語・スペイン語・オランダ語・デンマーク語・スウェーデン語・フィンランド語・ノルウェー語・中国語の12カ国語について、複数言語間でのクロス検索が可能です。

ハイパー英語辞典

スーパー統合辞書98(広辞苑・新英和英中辞典・漢字源・現代用語の基礎知識1998年版)

三省堂 スーパー大辞林

世界大百科事典(百科年鑑・百科便覧・世界地図・日本地図を含む)

平凡社「世界大百科事典(全35巻)」の情報を収録。知りたいことが、索引・本文中のキーワードやジャンル・属性から検索できます。また、1985年から1996年までの百科年鑑と、約450種類の統計・資料データを収録した百科便覧も検索できます。

Encyclopedia Americana

世界歴史文化年表

農学・化学関係データベース

農業技術体系 2000年版

「土壌施肥編」「作物編」「野菜編」「果樹編」「花卉編」「畜産編」の6つのシリーズからなる農業の百科事典で、図表データも豊富です。

病虫害・雑草の診断と防除 2001年版

花卉病虫害の診断と防除 2001年版

理科年表 CD-ROM99

「天文学」「気象学」「地球物理学」「物理・化学」「地質・地理学」「生化学・生物学」などの分野のデータを収録しています。

Methods in Enzymology

vol.1 vol.244(1955-1994)のインデックスと“Recombinant DNA and Related Methodology”セクションのフルテキスト(18タイトル)を見ることができます。

The Merck Index

医薬品・化学物質に関する事典。CAS登録番号、商標、分子量、毒性、組織率、物性データなどを収録し、構造・キーワードの両方から検索できます。

その他

Journal Citation Reports on CD-ROM
/ Science Edition2000

主要な学術雑誌について、インパクトファクター(文献引用影響率)や最新文献指数などの計量書誌学データを調べることができます。

日本国勢図会 CD-ROM 2000/2001

1927年からのデータを、現在の統計に接続するものを中心にまとめたものです。

群書類従

「群書類従(全30巻)」が収録されたCD-ROM。書名だけでなく、輯・巻・ページからも検索できます。

2002年外国雑誌情報

【新規購入雑誌】

Arid Land Research and Management.	イギリス	乾	山本太
Autonomous Agents and Multi-Agent Systems.	アメリカ	工	知能情報
Ethnic and Racial Studies.	イギリス	教	仲野誠
Ethnicities.	イギリス	教	仲野誠
IEEE Transactions on Parallel and Distributed Systems.	アメリカ	工	知能情報
Journal of Artificial Intelligence Research.	アメリカ	工	知能情報
Lake and Reservoir Management. (NALMS publication)	アメリカ	工	社会開発
Planta.	ドイツ	乾	稲永
Race and Class.	イギリス	教	仲野誠
Theory Culture and Society.	イギリス	教	仲野誠
Times Educational Supplement. (TES)	イギリス	教	柿内
Molecular Plant Pathology.	イギリス	農	尾谷

【中止雑誌】

Academy of Management Review.	アメリカ	教	サージャント
Africa.	イギリス	教	茨木
Agricultural Water Management.	オランダ	農	北村
American Journal of Enology and Viticulture.	アメリカ	農	高橋
ASCE:Journal of Irrigation and Drainage Engineering.	アメリカ	農	北村
Biochemical and Biophysical Research Communications.	アメリカ	共	生化学系
Current Anthropology.	アメリカ	教	茨木
Deutsche Vierteljahrsschrift fur Literaturwissenschaft und Geistesgeschichte.	ドイツ	教	森
Early Music.	イギリス	教	内藤
Earth Surface Processes and Landforms.	イギリス	農	奥村
Economist.	イギリス	教	ライト
Ethnomusicology.	アメリカ	教	内藤
European Review of Agricultural Economics.	イギリス	教	仙北谷
Forest Science.	アメリカ	農	宮田
Gastroenterology.	アメリカ	農	家畜薬理
Geotechnique.	イギリス	農	宮田
IEEE Transactions on Communications.	アメリカ	工	知能情報
IEEE Transactions on Signal Processing.	アメリカ	工	知能情報
Journal of American Society for Horticultural Science.	アメリカ	農	高橋
Journal of Climate.	アメリカ	乾	神近
Journal of Environmental Economics and Management.	アメリカ	工	社会開発
Journal of Family and Consumer Sciences.	アメリカ	教	鳥井
Journal of General Virology.	イギリス	農	獣医公衆
Land Economics.	アメリカ	工	社会開発
Language and Literature.	アメリカ	教	筏津
Mathematics of Computation.	アメリカ	工	知能情報
Parallel Computing.	オランダ	工	知能情報
Phytochemistry.	アメリカ	乾	稲永
Plant Physiology. incl. Plant Cell.	アメリカ	農	山内・藤山
Probability in the Engineering and Informational Sciences.	イギリス	工	社会開発
Quarterly Journal of Royal Meteorological Society.	イギリス	乾	神近
Review of Plant Pathology.	イギリス	農	尾谷
Solar Energy.	アメリカ	乾	神近
Water Research.	イギリス	工	社会開発
Water Resources Research.	アメリカ	農	北村

鳥取ライオンズクラブから図書の寄贈を受けました

平成12年度に引き続き、鳥取ライオンズクラブから図書の寄贈を受けました。

これは、本学の外国人留学生の充実した学生生活を助成するために、平成7年度から継続して毎年10万円相当の日本の伝統・文化、風俗・習慣、日本語などに関する図書が寄贈されているもので、平成13年度末現在、合計245冊を数えています。

2階の日本紹介コーナーに配架していますので、是非ご利用ください。



贈呈式で同クラブ吉田会長から目録を受け取る飯野副学長

平成13年度鳥取ライオンズクラブ寄贈図書（書名のA B C順）

編 著 者	書 名	発行所・発行年	冊数
小原秀雄ほか	動物世界遺産:レッド・データ・アニマルズ238別巻	講談社 2001	4
	外国人のための日本語例文・問題シリーズ 1-18(7,17欠)	荒竹出版 1987-1993	16
中山兼芳	目で見る日本の文化	学習研究社 1987	1
中山兼芳	目で見る日本の生活と行事	学習研究社 1993	1
	日本語文法セルフマスターシリーズ 1-6	くろしお出版 1985-1996	6
丸山敬介	日本語教育演習シリーズ 1-5	凡人社 1994-1995	5
水谷修、水谷信子	NIHONGO NOTES 1-5	ジャパントイズ1977-1983	5
中山兼芳	日本の美	学習研究社 1990	1
合 計			39

ミニ・トピックス

平成14年 附属図書館委員会委員

附属図書館長	高阪 一治 (13. 1. 1 ~ 14.12.31)	地域共同研究センター	岡本 尚機 (13.12.20 ~ 15.12.19)
医学部分館長	大浜 栄作 (14. 4. 1 ~ 16. 3.31)	遺伝子実験施設	難波 栄二 (13.12.20 ~ 15.12.19)
教育地域科学部	田畑 博敏 (13.12.20 ~ 15.12.19)	乾燥地研究センター	濱村 邦夫 (13.12.20 ~ 15.12.19)
"	鶴崎 展巨 (12.12.20 ~ 14.12.19)	医学部分館(運営委員)	黒沢 洋一 (13. 4. 1 ~ 15. 3.31)
医 学 部	前田 隆子 (13.12.20 ~ 15.12.19)	大学教育センター	藤田 安一 (13. 4. 1 ~ 15. 3.31)
工 学 部	大北 正昭 (13.12.20 ~ 15.12.19)	(主任)	
"	井須 尚紀 (12.12.20 ~ 14.12.19)	総合情報処理センター	木村 晃 (13. 4. 1 ~ 15. 3.31)
農 学 部	岡本 宗裕 (12.12.20 ~ 14.12.19)	(センター長)	
"	山口 武視 (13.12.20 ~ 14.12.19)	教育地域科学部	塩見 邦彦 (14. 2. 1 ~)
連合農学研究科	森 信寛 (14. 4. 1 ~ 15.12.19)	農 学 部	小林 一 (14. 2. 1 ~)

鳥取環境大学情報メディアセンターと相互利用を申合せ

附属図書館では平成13年8月31日、鳥取環境大学の情報メディアセンターと相互利用に関する申合せの調印を本学館長室で行いました。この申合せは、両大学に在籍する学生、教職員が相互に利用できるようにするための必要事項を定めたもので、各々の大学の発行する学生証、教職員証などを相手側図書館に提示して所定の手続きにより利用許可証の交付を受けられるようにしたものです。これによって、両館とも9月1日から図書館外貸出を1人当たり5冊まで14日以内(ただし、医学部分館は3冊まで7日以内)、相互に利用できるようになりました。現在、鳥取環境大学の蔵書は約4万冊ですが、本学に少ない建築分野などが充実しており、この合意によって互いの利便性が

大きく高まるものと期待されています。



写真は申合せ書を交わす高阪附属図書館長と都倉鳥取環境大学情報メディアセンター長

鳥取県大学図書館等協議会、第一回総会を開催

鳥取県内の大学等の図書館でネットワークを築く鳥取県大学図書館等協議会が平成13年10月1日発足し、11月29日に第一回総会を本学附属図書館で開催しました。総会では加盟館4館(鳥取大学附属図書館、鳥取環境大学情報メディアセンター、鳥取短期大学図書館、米子工業高等専門学校図書館)で互選を行い、幹事館に鳥取大学附属図書館、副幹事館に鳥取環境大学情報メディアセンターをそれぞれ選任して、幹事館に決定した本学の高阪館長を議長に、インターネットを活用した所蔵情報の横断検索や地域に向けたセミナーの

開催等、今後の事業計画案や県民への貢献策等について協議しました。その後、本学が主催する講演会では、名古屋女子大学総務部長の雨森弘行氏に「大学図書館経営の課題と展望」と題する、館種を越えた図書館ネットワークの形成を通じた生涯学習や地域への貢献についての講演をいただきました。氏の国立・大学・公共図書館での豊富な経験に基づいた幅広い内容に、学内外から図書館関係者が多数参加して熱心に耳を傾けました。



事業計画案等について意見交換する協議会関係者



講演会「大学図書館経営の課題と展望」

ミニ・トピックス

附属図書館公開展示「郷土の文化人たちⅡ」を開催

平成13年11月3日(土)、4日(日)の2日間にわたり、教育・文化週間行事の一環として「郷土の文化人たち - 江戸から明治の画家たち - 」と題する一般公開展示を図書館1階ホールで開催しました。これは、教育地域科学部の前身である旧鳥取師範学校が収集した郷土資料の内、江戸から明治にかけて活躍した郷土の画家、森岡永眠、根本幽峨、橋本秀峰、河村芳舟、土方稲嶺、黒田稲臯、青木図南、片山楊谷等の作品約20点を展示したもので、学内外から約230人の入場者が熱心に鑑賞しました。



学内外から熱心な鑑賞者を集めた公開展示会場

図書館で中学生が職場体験学習

平成13年11月5日から9日までの5日間にわたり、鳥取市立湖東中学校の生徒三人を同校の職場体験学習「地域に学ぶ『ワクワク湖東』体験活動」の一環として昨年度に引き続いて受け入れました。



カウンターで貸出業務を体験する中学生

これは、仕事などの体験活動や社会へ積極的に関わる体験を通して地域社会での人間関係づくりを学び、そして共に生きる心や感謝の心を育むことを目的として同校が毎年実施しているもので、今年で二年目になります。三人の中学生は、カウンターでの図書の貸出・返却処理をはじめ、雑誌の受付やISBNで検索してNACSIS-CATから書誌データをダウンロードするなどの業務を実際に体験しました。そのなかで三人は、カウンターの外からは見えないたくさんの業務があることや、館内の資料がコンピュータで即座に検索できることに驚いたと感想を話してくれました。

館内のレイアウトを変更しました

昨年10月に館内のレイアウトなどを次のように変更しました。

施設して平日午前9時から午後5時までの利用に限っていた2階郷土資料室を、開館時間中はいつでも自由に利用できるようにしました。

郷土資料室横の旧演習室を"鳥取大学関係資料室"とし、本学の沿革誌など鳥取大学関係の資

料を集めました。

1階視聴覚資料室の横に"貴重資料室"を設けました。

"鳥取大学関係資料室"と"貴重資料室"は、平日午前9時から午後5時までの利用とさせていただきます。ご希望の方はカウンターへお申し出ください。

文庫本 3,174冊を購入しました

図書館では、すでに購入している講談社学術文庫に加えて、新しく

- * 岩波文庫
- * 岩波新書
- * 岩波現代文庫
- * 岩波ブックレット
- * 東洋文庫
- * 文庫クセジュ

合わせて3,174冊を購入し、2階OPAC西側に「教養文庫コーナー」として配架しました。

学生みなさんに、専門分野の学習だけでなく広く教養を高める読書の場として図書館を利用

して頂きたい、という願いを込めています。

昨年12月に配架してから毎日たくさん借り出されており、予想以上の反響に驚いています。

かなり大きな書店でなければ、現在入手できるシリーズ全てを揃えているところはありません。実際に手に取って中身をのぞいてみれば、興味をひかれる本があるはずです。

是非ご利用ください。



2階OPACコーナー隣りに新設された「教養文庫コーナー」

試験期間中は午後10時まで開館延長

開館時間を延長してほしいというご要望にお応えして、昨年度の後期定期試験期より、試験の一週間前から試験期間終了日まで開館時間を1時間延長して午後10時まで開館しています。



平成14年度の午後10時まで開館する期間

- <前期定期試験期> 7月11日(木)から7月31日(水)
 - <後期定期試験期> 1月30日(木)から2月19日(水)
- ただし、土曜日・日曜日は午後5時までの開館です。

平成14年度鳥取大学中央図書館開館計画

通常：9:00～21:00
 休業期：9:00～17:00
 試験期：9:00～22:00

土・日・祝日開館：9:00～17:00

図書整理日：13:00～21:00

休館日

2002 4 APR						
S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

5 MAY						
S	M	T	W	T	F	S
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6 JUN						
S	M	T	W	T	F	S
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
^{23/30} 24	25	26	27	28	29	

7 JUL						
S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8 AUG						
S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9 SEP						
S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

10 OCT						
S	M	T	W	T	F	S
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

11 NOV						
S	M	T	W	T	F	S
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12 DEC						
S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2003 1 JAN						
S	M	T	W	T	F	S
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2 FEB						
S	M	T	W	T	F	S
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

3 MAR						
S	M	T	W	T	F	S
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
^{23/30} 24	^{24/31} 25	26	27	28	29	

鳥取大学附属図書館報 第99号 (2002年4月発行)

編集・発行：鳥取大学附属図書館 〒680-8554 鳥取市湖山町南4丁目101 ☎0857-31-6727

ホームページアドレス <http://www.lib.tottori-u.ac.jp>